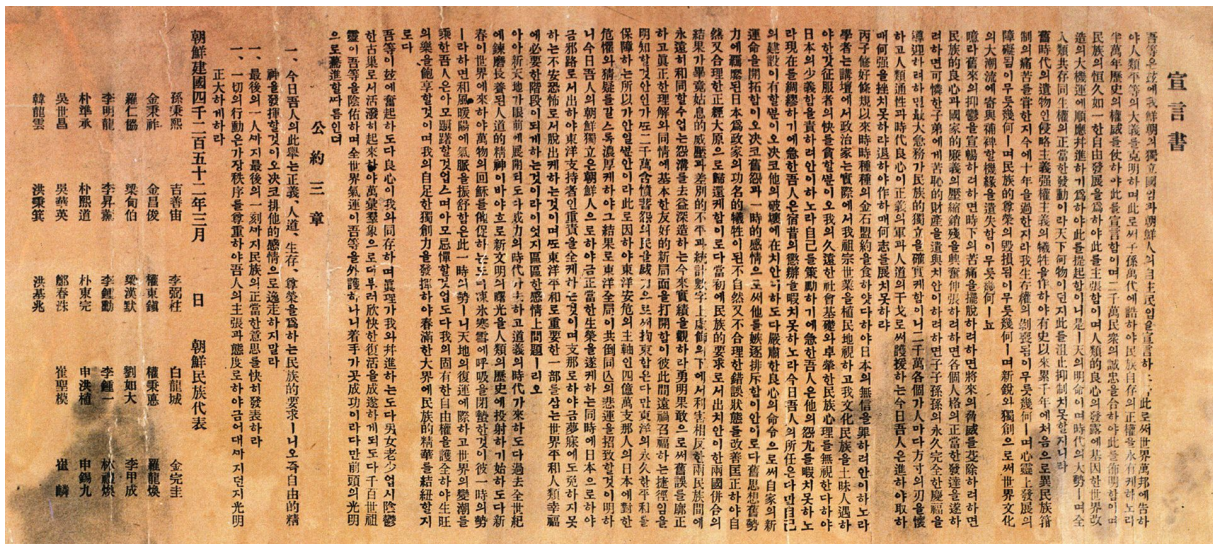




宣 言 書

(引用元：日本大百科全書。朴慶植訳)

われらはここにわが朝鮮国が独立国であること、および朝鮮人が自由民であることを宣言する。これをもって世界万邦(ばんぽう)¹に告げ、人類平等の大義を克明²し、これをもって子孫万代におしえ、民族自存の正当なる権利を永遠に有せしむるものである。半万年の歴史の権利によってこれを宣言し、二千万民衆の忠誠を合わせてこれを明らかにし、民族の恒久一筋(ひとすじ)の自由の発展のためにこれを主張し、人類の良心の発露(はつろ)³にもとづいた世界改造の大機運に順応し、並進させるためにこれを提起するものである。これは天の明命、時代の大勢、全人類の共存同生の権利の正当な発動である。天下の何ものといえどもこれを抑制することはできない。旧時代の遺物である侵略主義、強権主義の犠牲となって、有史以来幾千年をかさね、はじめて異民族による箝制(かんせい)⁴の痛苦を嘗(な)めてからここに一〇年が過ぎた。かれら

¹ あらゆる国(デジタル大辞泉)

² こまかな点にまで念を入れてはつきりとさせるさま(大辞林第三版)

³ 心の中にあるものや隠していたことがおもてに現れ出ること(デジタル大辞泉)

⁴ 自由を奪うこと。束縛(大辞林第三版)

はわが生存の権利をどれほど剥奪(はくだつ)したであろうか。精神上的の発展にどれほど障礙(しょうがい)⁵となったであろうか。民族の尊厳と栄光をどれほど毀損(きそん)したであろうか。新鋭と独創によって世界文化の大潮流に寄与、補裨(ほひ)⁶できる機縁⁷をわれらはどれほど遺失⁸したであろうか。

ああ、旧来の抑鬱(よくうつ)を宣揚(せんよう)⁹せんとすれば、時下の苦痛を擺脫(はいだつ)¹⁰せんとすれば、将来の脅威を芟除(さんじょ)¹¹せんとすれば、民族的良心と国家的廉義(れんぎ)¹²の圧縮、銷残(しょうざん)¹³とを興起(こうき)¹⁴、伸張せんとすれば、各個人の人格の正当な発達を遂げんとすれば、憐(あわれ)むべき子弟たちに苦恥的(くちてき)¹⁵な財産を遺与せざらんとすれば、子々孫々永久、完全な慶福を尊迎せんとすれば、その最大急務は民族の独立を確実なものとすることにある。二千万人民のおのおのが方寸(ほうすん)¹⁶の刃を懷にし、人類の通性¹⁷と時代の良心が正義の軍と人道の干戈(かんか)とをもって援護する今日、吾人(ごじん)が進んで取ればどんな強権でも挫(くじ)けないものがあるだろうか、退いて事をなせばどんな志であれ、のばせないことがあるだろうか。

⁵ 障害。妨げ。仏教では、悟りの障害となるものをいう(デジタル大辞泉)

⁶ (日本語にない)補助

⁷ きっかけ。機会(精選版 日本国語大辞典)

⁸ 物事を忘れてあとに残すこと。とりおとすこと。忘れること。なくすこと(精選版 日本国語大辞典)

⁹ 広く世の中にあらわすこと(精選版 日本国語大辞典)

¹⁰ 取り去ること(大辞林 第三版)

¹¹ 取り除くこと(大辞林 第三版)

¹² (日本語にない)廉恥(れんち：心が清らかで恥を知る心が強いこと)と義理(ネイバー漢字辞典)

¹³ (日本語にない)鉄が溶けるように朽ち果てること(ネイバー漢字辞典)

¹⁴ 勢いが盛んになること(精選版 日本国語大辞典)

¹⁵ (日本語にない)苦しく恥ずかしい(ネイバー漢字辞典)

¹⁶ 心。精神(精選版 日本国語大辞典)

¹⁷ 世間一般、または同類のものに共通して認められる性質(精選版 日本国語大辞典)

丙子修好条規¹⁸以来、種々の金石(きんせき)¹⁹の盟約をいつわったとして、日本の信のないことをとがめようとするものではない。学者は講壇で、政治家は実際において、わが祖宗(そそう)²⁰の世業を植民地的なものとみなし、わが文化民族を野蛮人なみに遇し、もっぱら征服者の快樂を貪(むさぼ)っている。わが久遠(きゅうえん)²¹の社会の基礎と卓越した民族の心理とを無視するものとして、日本の少義を責めんとするものではない。自己を策励(さくれい)²²するのに急なわれわれには、他人を怨(うら)みとがめる暇はない。現在を綢繆(ちゅうびゅう)²³するのに急なわれわれには、宿昔(しゅくせき)²⁴を懲辨(ちやうべん)²⁵する暇はない。今日われわれがなさねばならないことは、ただ自己の建設だけである。決して他を破壊するものではない。厳肅な良心の命令によって自家の新運命を開拓しようとするものである。決して旧怨(きゅうえん)および一時的な感情によって他を嫉逐(とちく)²⁶、排斥するものではない。旧思想、旧勢力に束縛され日本の為政者の功名心の犠牲となっている、不自然でまた不合理な錯誤状態を改善、匡正(きやうせい)して、自然でまた合理的な正經(せいけい)の大原²⁷に帰そうとするものである。当初から民族的要求としてだされたものではない両国併合の結果が、畢竟(ひっきやう)²⁸、姑息(こそく)的威圧と差別的な不平等と統計数字上の虚飾のもとで、利害相反する両民族間に永遠に和合することのできな

¹⁸ 日朝修好条規のこと。明治九年（一八七六）、朝鮮の江華府で調印された日本と朝鮮の条約。同八年の江華島事件を口実に締結。朝鮮が自主独立国であることを宣言、釜山・元山・仁川の開港、日本の在外公館の設置、領事裁判権を認めたもの。全体的に幕末の安政諸条約に似た不平等条約を朝鮮に押しつけ、韓国の鎖国政策を破った。江華条約。（精選版 日本国語大辞典）

¹⁹ 金属と石。永久に変わらないもののたとえ。（大辞林 第三版）

²⁰ 君主の始祖と中興の祖。また、ひろく歴代の君主やある系統を伝える人の称（精選版 日本国語大辞典）

²¹ 時が限りなく久しいこと。現在からみて遠い過去、または、遠い未来。くおんとも読む（精選版 日本国語大辞典）

²² （「策」はむち打つの意）励ますこと。また、大いに励むこと（精選版 日本国語大辞典）

²³ からみつくこと。まといつくこと。また、むすびつけること（精選版 日本国語大辞典）←「收拾して、とりまとめる」の意で使われている

²⁴ 昔から今までの間（精選版 日本国語大辞典）

²⁵ （日本語にない）懲らしめ是非を弁じる（韓国のネット翻訳文）

²⁶ ねたみ追い出す（ネイバー漢字辞典）

²⁷ 正しい道と大きな原則（韓国の故事成語）（ネイバー辞典）

²⁸ ついに（ネイバー辞典）

い怨恨(えんこん)の溝を、ますます深くさせている今日までの実績をみよ。勇明²⁹、果敢をもって旧来の誤りを正し、真正なる理解と同情とを基本とする友好の新局面を開くことが、彼我の間に禍いを遠ざけ、祝福をもたらす捷徑(しょうけい)³⁰であることを明知³¹すべきではないか。憤りを含み怨みを抱いている二千万の民を、威力をもって拘束することは、ただに東洋永遠の平和を保障するゆえんでないだけでなく、これによって、東洋安危の主軸である四億の中国人民の日本にたいする危懼(きく)³²と猜疑(さいぎ)とをますます濃厚にさせ、その結果として東洋全局の共倒れ、同時に滅亡の悲運を招くであろうことは明らかである。今日わが朝鮮の独立は朝鮮人をして正当なる生活の繁栄を遂げさせると同時に、日本をして邪道より出(い)でて東洋の支持者としての重責を全うさせるものであり、中国をして夢寐(むび)³³にも忘れえない不安や恐怖から脱出させるものである。また東洋の平和を重要な一部とする世界の平和、人類の幸福に必要な階梯(かいてい)³⁴となさしめるものである。これがどうして区々とした³⁵感情の問題であろうか。

ああ、新天地は眼前に展開せられた。威力の時代は去り道義の時代がきた。過去の全世紀にわたって錬磨され、長く養われてきた人道的精神は、まさに新文明の曙光(しょうこう)を人類の歴史に投射しはじめた。新春は世界にめぐりきて、万物の回蘇(かいそ)をうながしつつある。凍氷、寒雪に呼吸を閉蹙(へいちつ)³⁶していたのが一時の勢いであるとすれば、和風、暖陽に気脈を振いのぼすこともまた一時の勢いである。天地の復運に際し、世界の変潮に乗じたわれわれは何らの躊躇(ちゅうちょ)もなく、何らの忌憚(きたん)³⁷することもない。わが固有の自由権を護(まも)り、旺盛(おうせい)に生きる楽しみを享(う)けられるよう、わが自足の独創力を發揮して春風に

²⁹ (日本語にない)勇敢で明敏(道理に明るく、さとの早いこと。賢くて、頭のはたらきのはやいこと)なこと(ネイバー漢字辞典)

³⁰ 早道。近道(精選版 日本国語大辞典)

³¹ はっきり知る(精選版 日本国語大辞典)

³² 危険だと思って、恐れること(精選版 日本国語大辞典)

³³ 眠って夢をみること。眠ること。また、その間(精選版 日本国語大辞典)

³⁴ 昇降の階段。はしご。物事を学ぶ段階。物事の発展の過程。(精選版 日本国語大辞典)

³⁵ 取るに足りないこと(精選版 日本国語大辞典)

³⁶ 冬になって虫類が土中にこもること(大辞林 第三版)

³⁷ 忌みはばかること。遠慮すること(精選版 日本国語大辞典)

満ちた大界に民族的精華(せいか)³⁸を結紐(けっちゅう)³⁹すべきである。

われらはここに奮起した。良心はわれらとともにあり、真理はわれらとともに進む。男女老少の別なく陰鬱(いんうつ)な古巢から活発に起来⁴⁰して、万民群衆とともに欣快(きんかい)⁴¹なる復活を成し遂げようとするものである。千百世の祖霊はわれらを陰ながらたすけ、全世界の気運はわれらを外から護っている。着手がすなわち成功である。ただ前方の光明にむかって驀進(ばくしん)するだけである。

公約三章

一、今日われわれのこの挙は、正義、人道、生存、尊榮のためにする民族的要求、すなわち自由の精神を發揮するものであつて、決して排他的感情に逸走(いつそう)⁴²してはならない。

一、最後の一人まで、最後の一刻まで、民族の正当なる意思をこころよく発表せよ。

一、一切の行動はもつとも秩序を尊重し、われわれの主張と態度をしてあくまで光明正大⁴³にせよ。

朝鮮建国四千二百五十二年三月一日

朝鮮民族代表

孫秉熙 吉善宙 李弼柱 白龍城 金完圭 金秉祚 金昌俊 権東鎮 権秉憲 羅龍煥 羅仁協 梁甸伯 梁漢默 劉如大 李甲成 李明龍 李昇薰 李鍾勲 李鍾一 林礼煥 朴準承 朴熙道 朴東完 申洪植 申錫九 吳世昌 吳華英 鄭春洙 崔聖模 崔麟 韓龍雲 洪秉箕 洪基兆

³⁸ すぐれていて美しくはなやかなこと。真髓。ほんもの。(精選版 日本国語大辞典)

³⁹ (日本語ではない)紐を結ぶこと(ネイバー漢字辞典)

⁴⁰ (日本語ではない)起きて来る(ネイバー漢字辞典)

⁴¹ 喜ばしく快いこと。また、そのさま。愉快(精選版 日本国語大辞典)

⁴² コースからはずれて走ること(精選版 日本国語大辞典)

⁴³ (日本語にない)言行にやましいところがなく正当であること(ネイバー漢字辞典)